

証券コード 6768  
東京証券取引所 プライム上場

# 株式会社タムラ製作所

## 第14次中期経営計画の概要

※ 第14次中期経営計画の詳細は、  
5月開催予定の決算説明会で公表予定です。

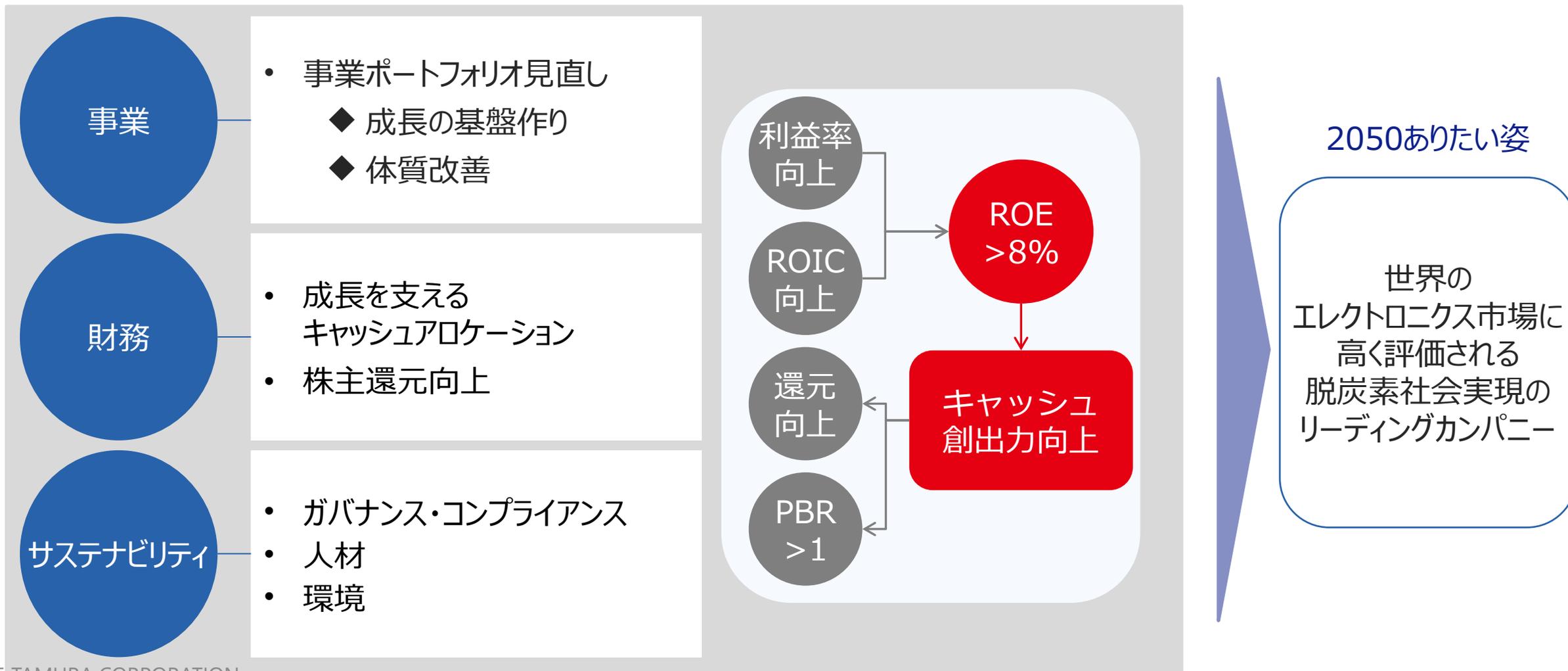
SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

2025年2月

**TAMURA**  
Your One and Only Company

# 第14次中期経営計画(2025/4~2028/3)の概要

◆ 事業戦略・サステナビリティ戦略とそれを支える財務戦略の一体推進で、ROE向上施策を推進しPBR1倍超を目指す



# 第14次中期経営計画 事業戦略

- ◆ 体質改善の早期実行と成長の基盤づくりで、2050ありたい姿に向けた事業へポートフォリオの見直しを実行

事業ポートフォリオ見直し

成長の基盤  
作り

## 脱炭素社会進展にともなう市場を機会に成長、M&Aも視野

- 注力市場：グリーンエネルギー関連  
(電力インフラ、インダストリー、モビリティ、次世代通信)
- 注力製品：次世代パワーエレクトロニクス関連製品
- 注力地域：欧米

体質改善

## 迅速な実行で効果の早期実現を図る

- 資本効率 (ROIC) 向上
  - 在庫水準・在庫回転日数適正化
  - 中国偏重を修正し、事業拠点配置見直し
- 収益性 (営業利益率) 向上
  - 低採算事業・製品の見直し
  - 固定費削減

強靱な  
事業体質により  
市場機会を  
機敏にとらえ  
力強い成長へ

# 注力市場と注力製品

- ◆ 次世代パワー半導体により進化する市場に、対応製品の開発・製品投入を進める

## 脱炭素社会の実現

注力市場

クリーンエネルギー

電力  
インフラ

インダ  
ストリー

モビリ  
ティ

次世代  
通信

再エネ / 送配電・蓄電 / インバータ /  
データセンター / 端末・IoT機器

注力製品

次世代パワーエ

磁気受動  
デバイス

高機能  
モジュール

電子化学  
材料

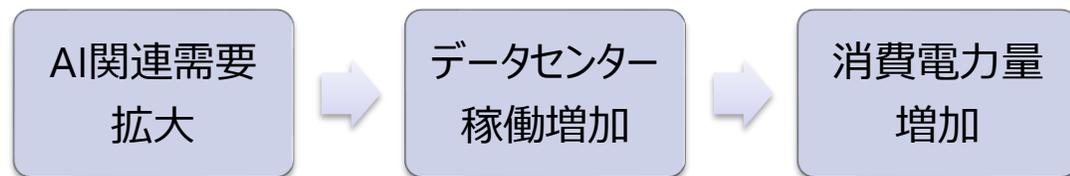
大型トランス・リアクタ / 高周波トランス・リアクタ /  
高耐圧ゲートドライバ / 大容量電流センサ /  
パワーエ関連化学材料 / 先端半導体用化学材料

次世代  
パワー  
半導体

# データセンター市場の拡大

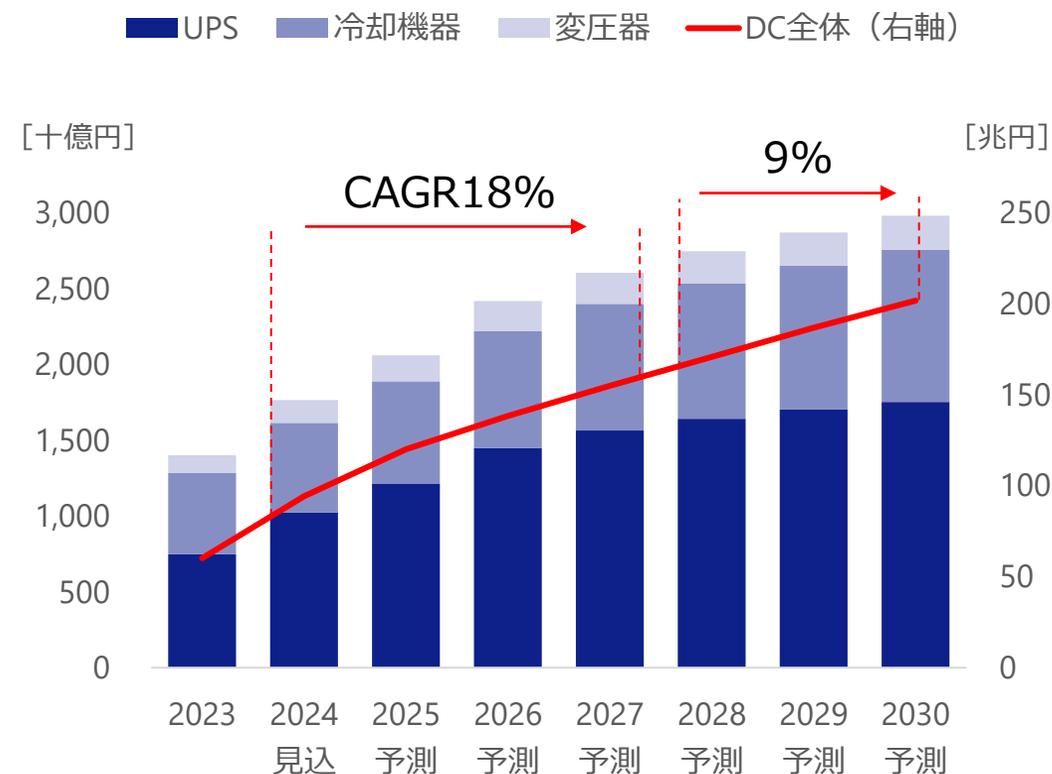
◆ AIニーズの拡大に伴いデータセンター市場は急速な拡大が予測される

## データセンターを取り巻く市場環境の変化



- データセンターの消費電力量に応じ設置台数が決定されるPDU・UPSは数量増加傾向
- サーバーの過熱防止の為、冷却機器（HVAC）は高性能・大型化が進み周辺機器の市場も拡大
- データセンター市場は高いCAGRが期待される
  - 24年～27年: 18%
  - 28年～30年: 9%

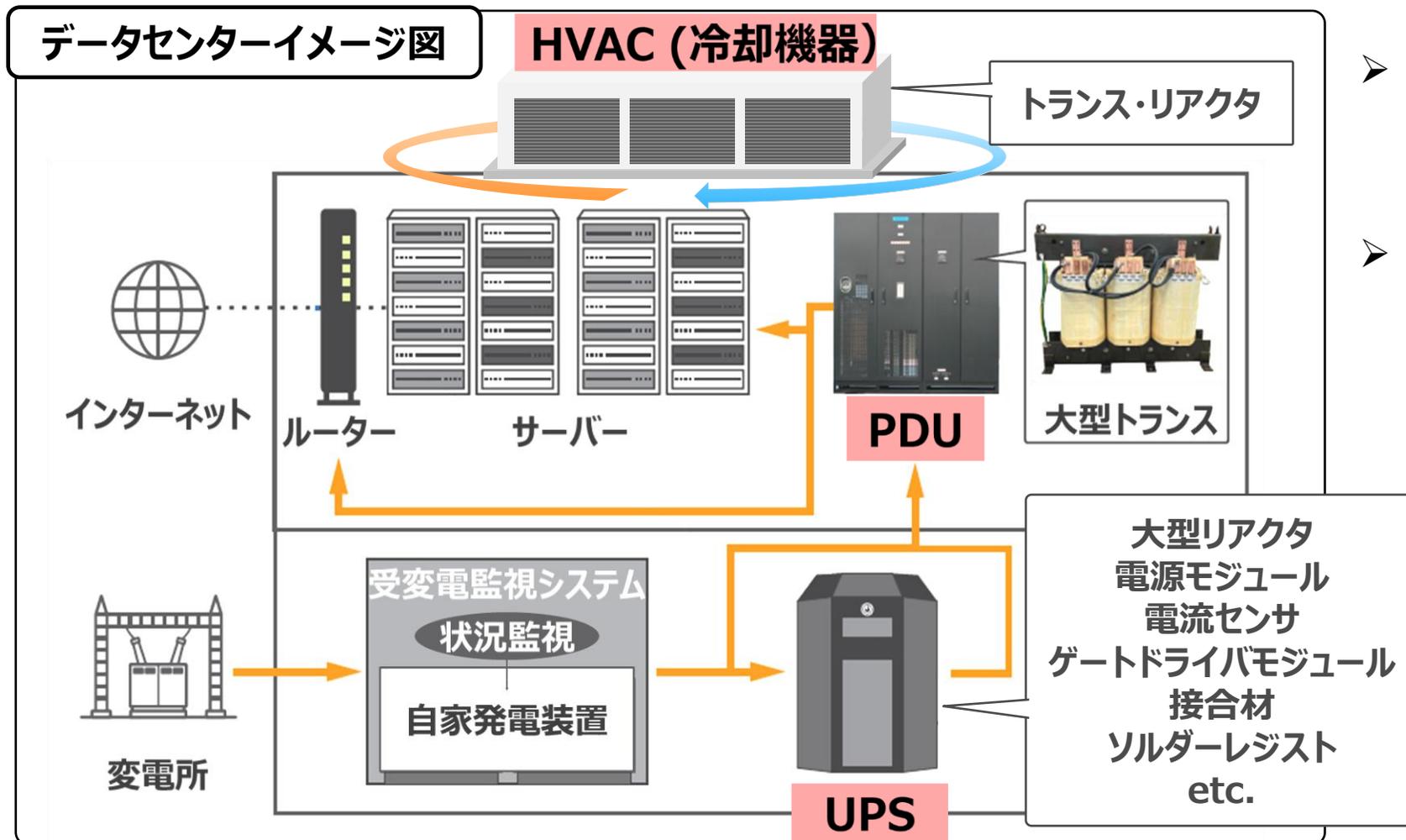
## データセンター市場規模



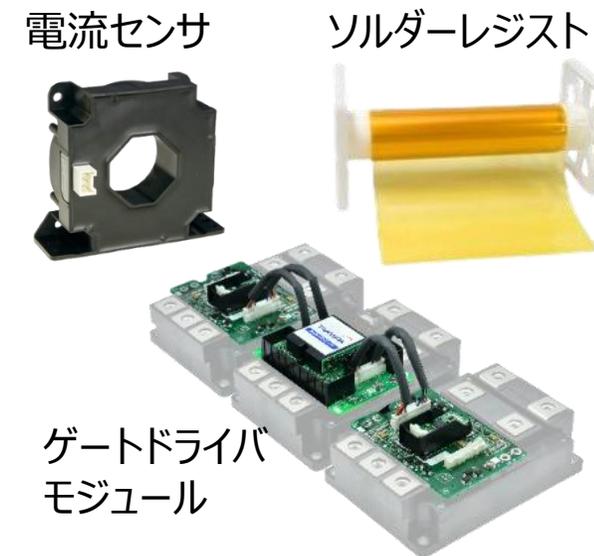
出典：富士キメラ総研「2024 データセンター・AI/キーデバイス市場総調査」  
 データセンター・AI/キーデバイス市場\_カテゴリ別市場規模推移（全体、電源系、冷却系）を基にタムラ製作所作成

# データセンター設備向けの多様な製品

◆ データセンター向けPDU・UPS・HVACへトータルソリューションを提供可能



- PDU用大型トランス、UPS用大型リアクタ向けの製品をはじめ多様な製品を展開
- HVAC用の製品群も取り揃えトータルソリューションを提供可能



# 大型トランス・リアクタの技術力と供給体制

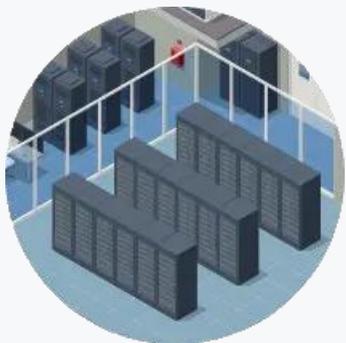
- ◆ 欧州で培った高い技術力と世界8工場の供給体制で差別化を図る

## 欧州の技術力×米国での実績



### 欧州-再生可能エネルギー

- 欧州発の技術で、欧州の風力発電用インバーター向けを中心に大型リアクタを生産、高い技術力を培う



### 北米-データセンター

- 欧州で得た信頼から欧州顧客の北米データセンター案件を受注
- 高い技術力が求められる大型リアクタで北米市場でのシェアを拡大

## 世界8工場のグローバル供給体制



- メキシコ、中国（2工場）、ブラジル（2工場）、マレーシア、インド、チェコの6か国8工場から供給可能
- メキシコ工場の生産能力をさらに増強、第2期は2024年に完成、2025年2月より稼働開始

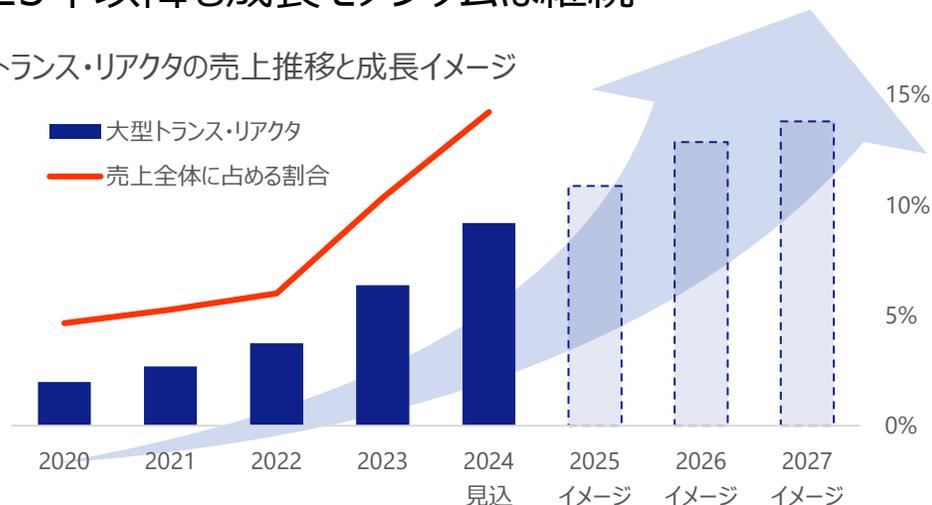
# データセンター向け事業の成長戦略

◆ 北米での成功を足掛かりに、さらなる市場開拓と成長加速へ

## 実績と成長ポテンシャル

- データセンター向け主力製品である大型トランス・リアクタの売上高は5年間で約5倍の成長を達成予定
- データセンター需要の活況により北米市場では2027年度売上目標を2年前倒しで2025年度中に達成予定
- 2025年以降も成長モメンタムは継続

大型トランス・リアクタの売上推移と成長イメージ



\*25年~27年のイメージは富士キメラ総研「2024 データセンター・AI/キーデバイス市場総調査」カテゴリー別市場規模推移（電源系）を基にタムラ製作所作成

## データセンター市場での成長戦略



- 欧米での実績を基にマレーシアでデータセンター案件を受注済み、ASEAN・日本市場への販路を拡大
- 実績と販売チャネルを活かしHVAC市場へ参入
- 世界8拠点の供給能力を活かしシェア拡大へ

伸長するデータセンター市場において、更なる成長を

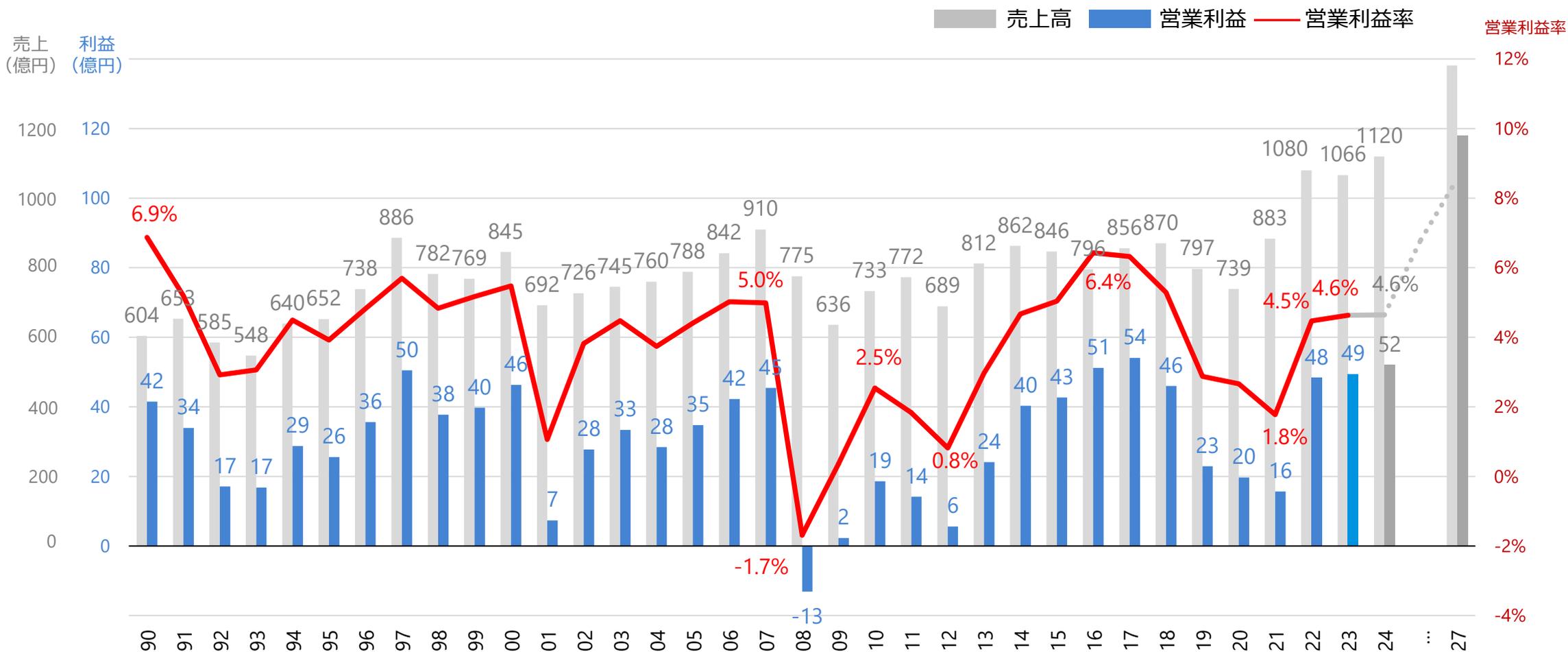
## 4. まとめ

## まとめ

- 事業戦略・サステナビリティ戦略とそれを支える財務戦略を一体として取り組み、ROE向上施策を推進しPBR1倍超を目指す
- 2050年を見据えたありたい姿に向けて、成長基盤づくりと体質改善のため、事業ポートフォリオの見直しを推進
- 注力するクリーンエネルギー市場に向け、次世代パワー半導体をキーとした磁気受動デバイス、高機能モジュール、次世代パワエレ関連電子化学材料の創出を目指す
- 多様な製品群で、データセンターの各設備に対するトータルソリューション販売を進め、アメリカを中心に伸長するデータセンター市場でのビジネス拡大を目指す

# 【付録】 参考資料

# 全社：売上高・営業利益の推移



1992年  
バブル崩壊

2001年  
ITバブル崩壊

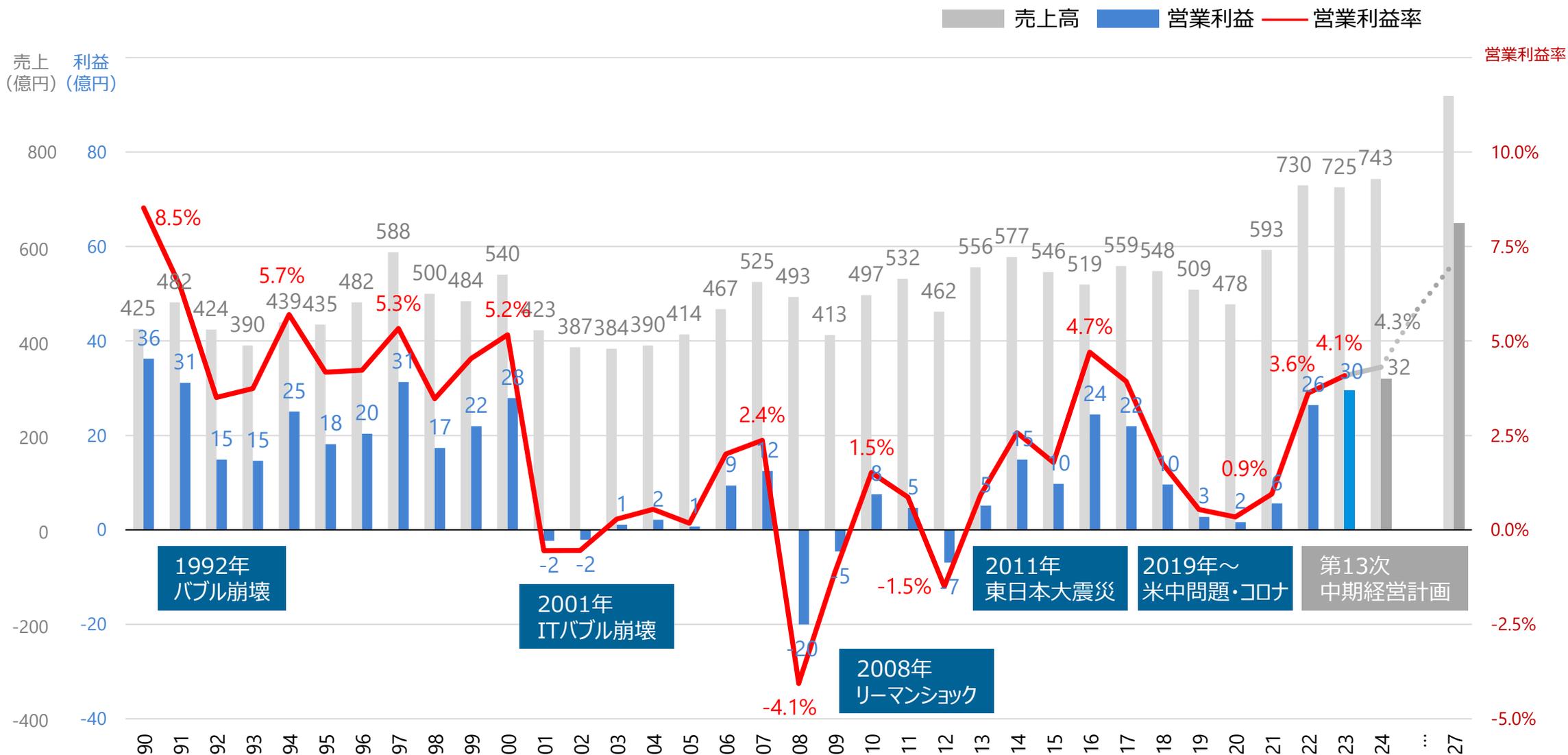
2008年  
リーマンショック

2011年  
東日本大震災

2019年～  
米中問題・コロナ

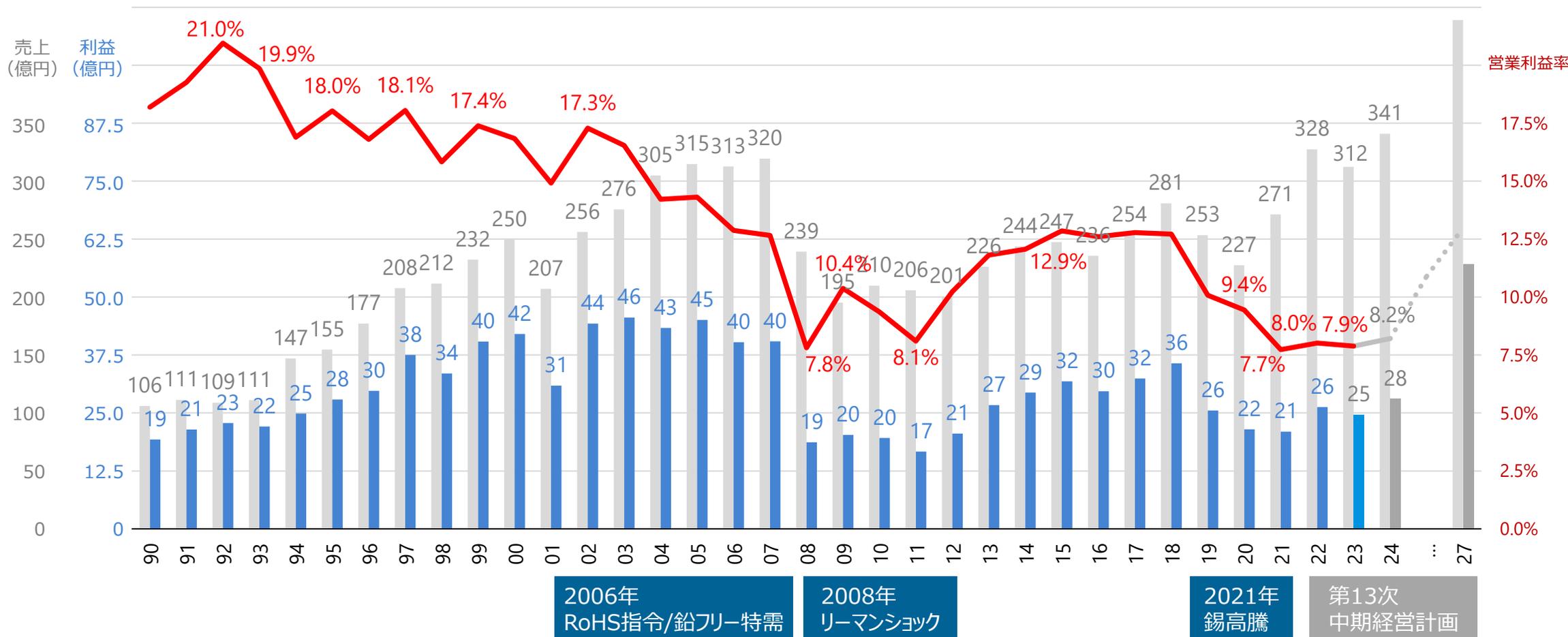
第13次  
中期経営計画

# 電子部品：売上高・営業利益の推移



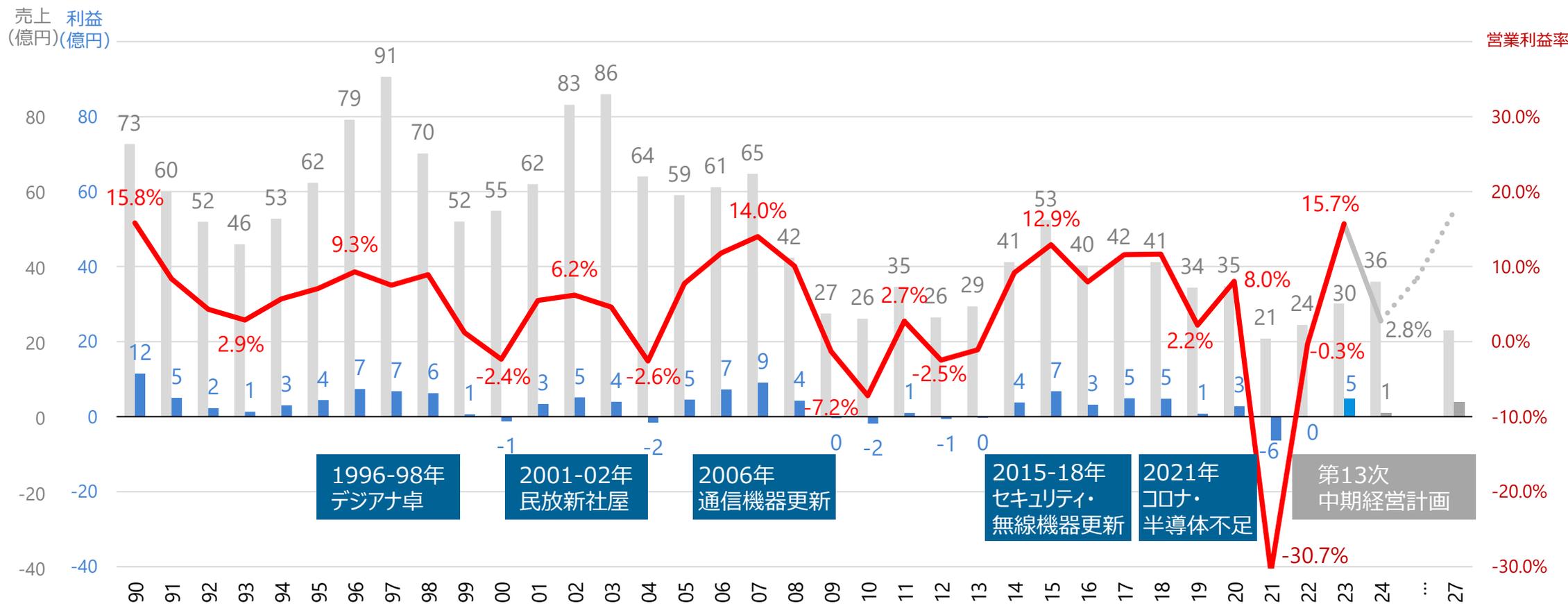
# 電子化学実装：売上高・営業利益の推移

■ 売上高 ■ 営業利益 — 営業利益率

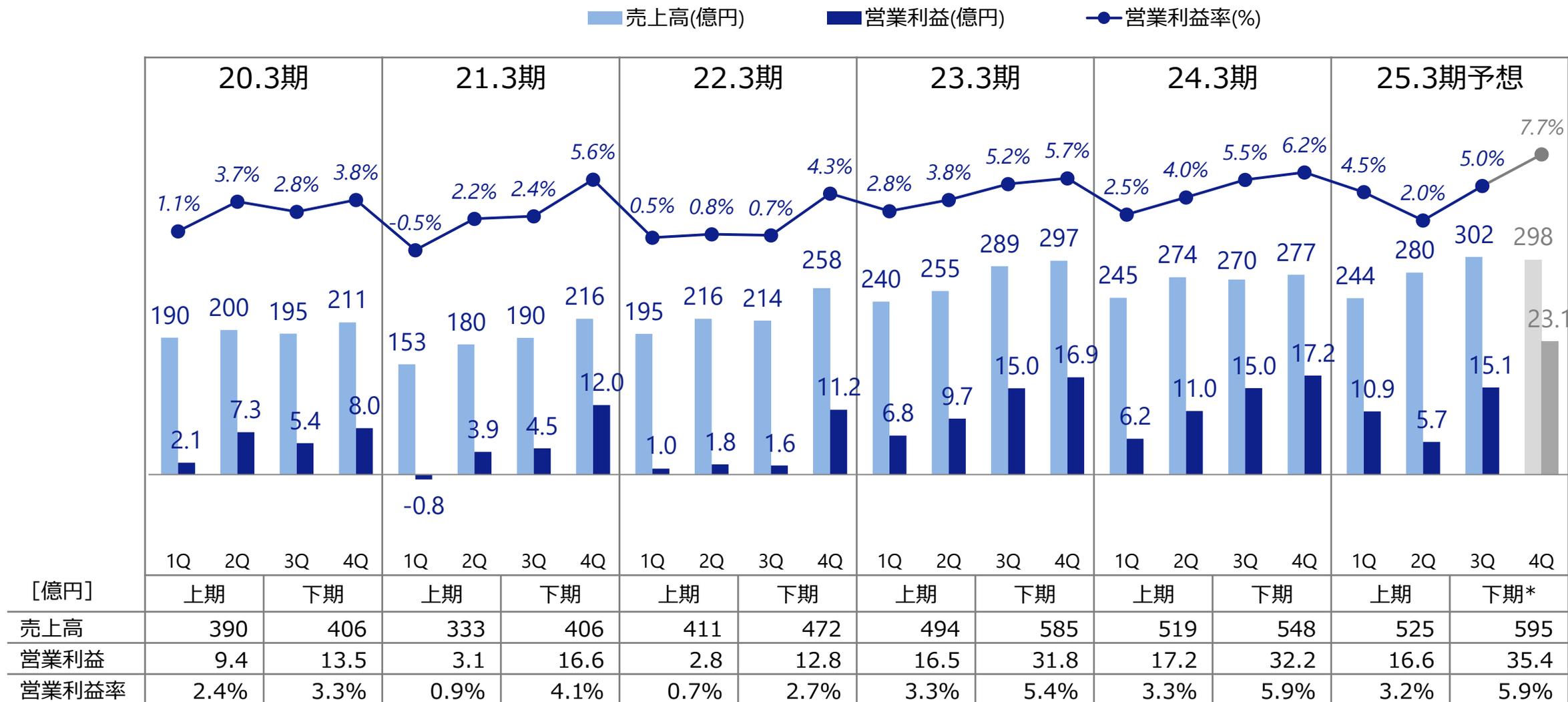


# 情報機器：売上高・営業利益の推移

■ 売上高 ■ 営業利益 — 営業利益率



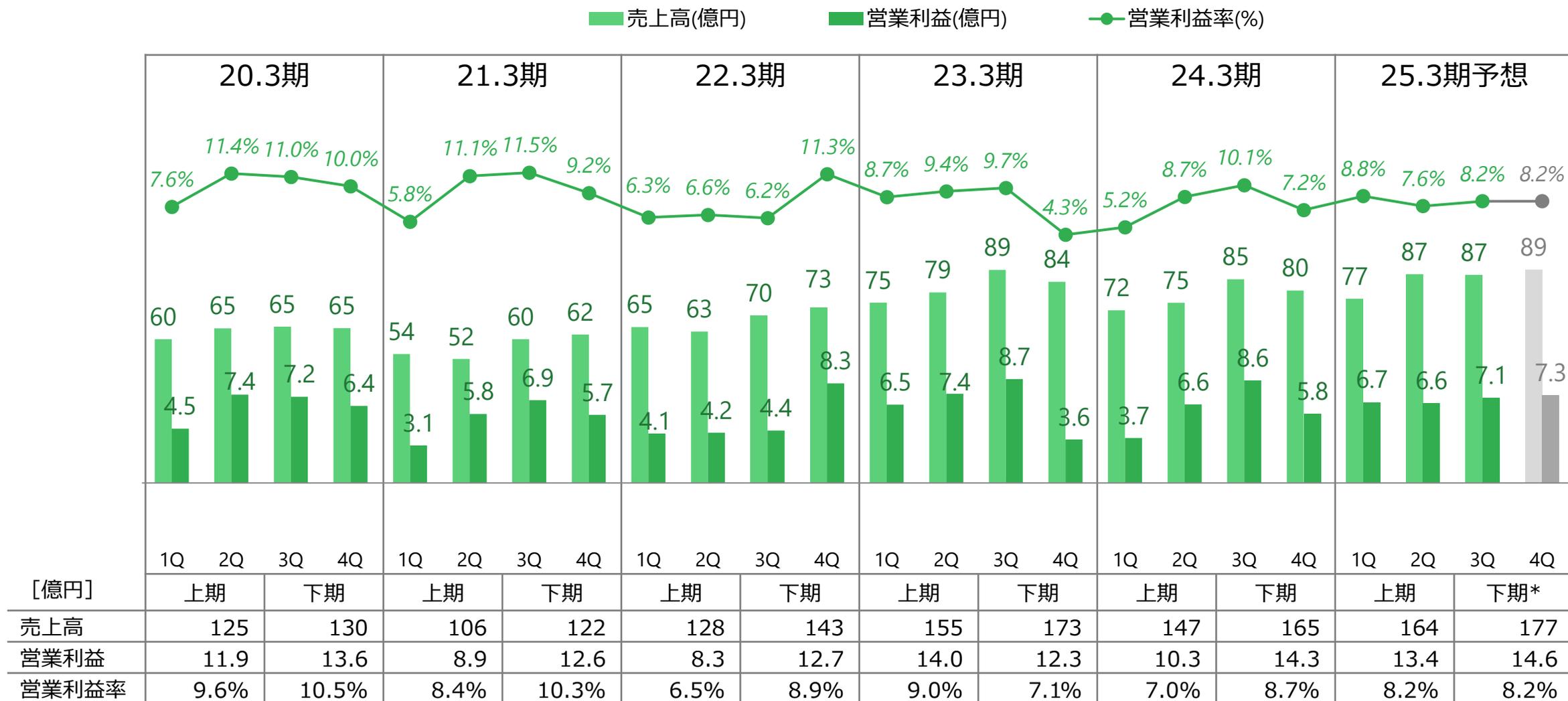
# 全社: 売上高・損益の四半期推移



\* 25.3期予想グラフの4Q予想値は、見直しを行っておりません。  
そのため、グラフの3Qおよび4Qの合計値と、表の下期数値は一致しません。



# 電子化学実装: 売上高・損益の四半期推移



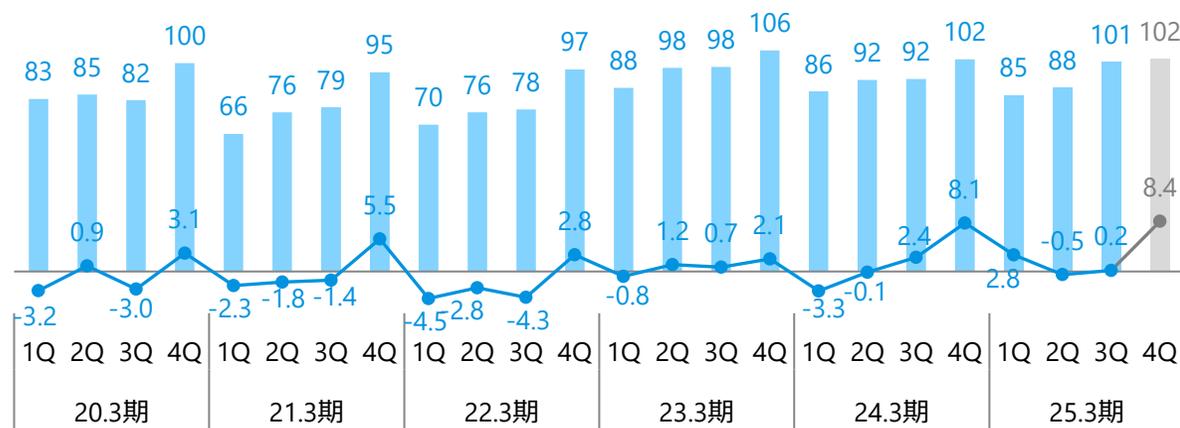
\* 25.3期予想グラフの4Q予想値は、見直しを行っておりません。  
そのため、グラフの3Qおよび4Qの合計値と、表の下期数値は一致しません。



# 地域別：売上高・損益の四半期推移

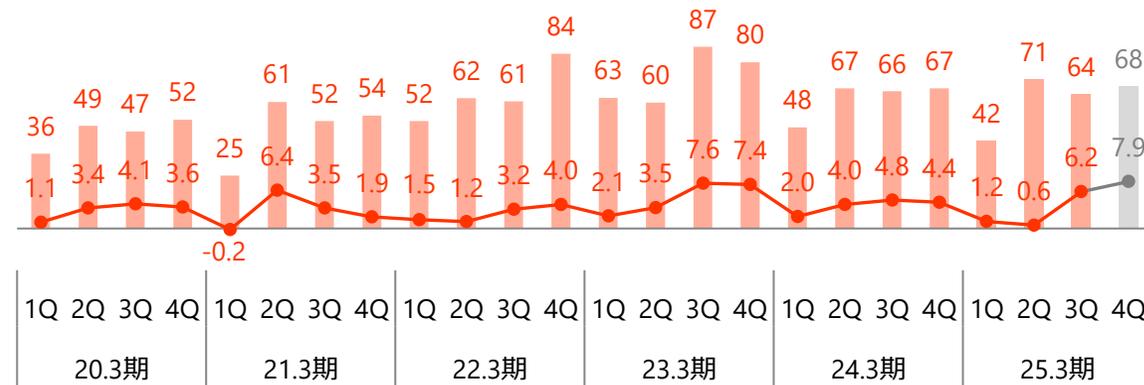
■ 売上高(億円) ● 営業利益(億円)

## 日本

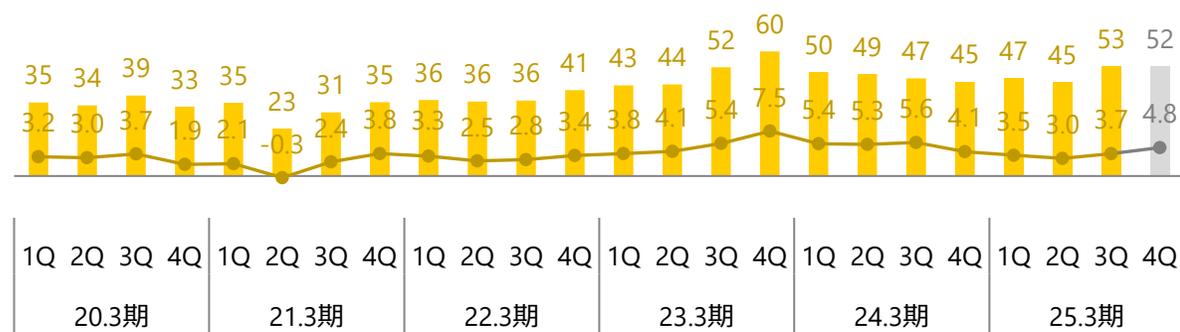


注：日本に連結消去等を含めて表示しています

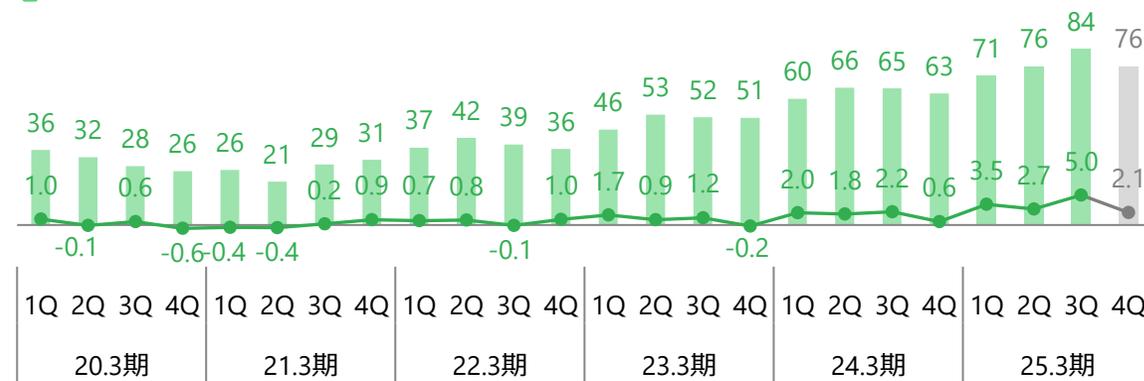
## 中国



## その他アジア

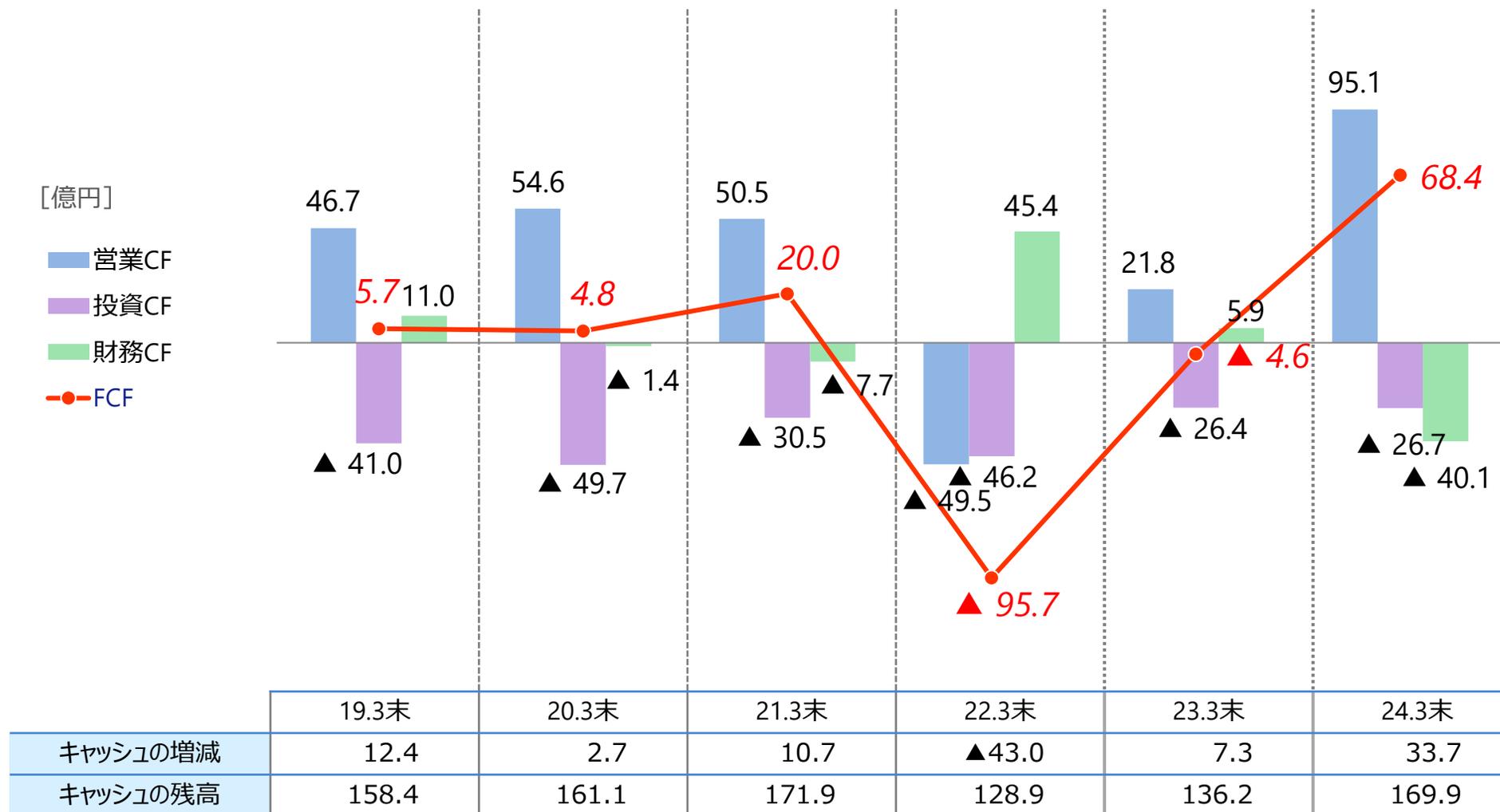


## 欧米



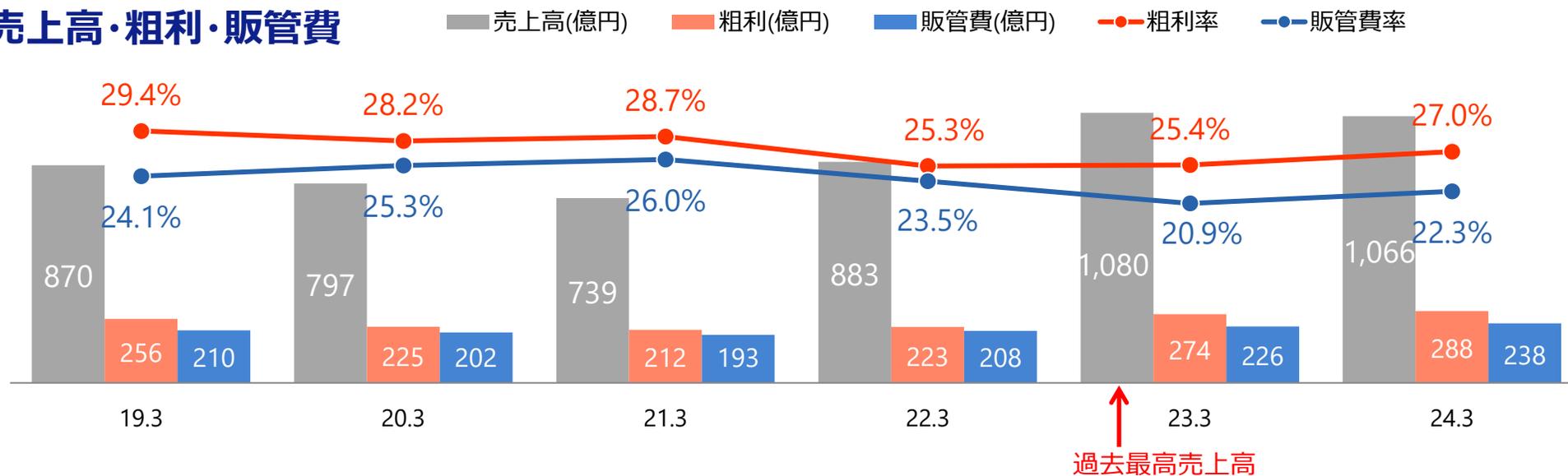
\* 25.3期の4Q予想値は見直しを行っていないため、25.3期合計は通期予想値と一致しません。

# キャッシュ・フロー

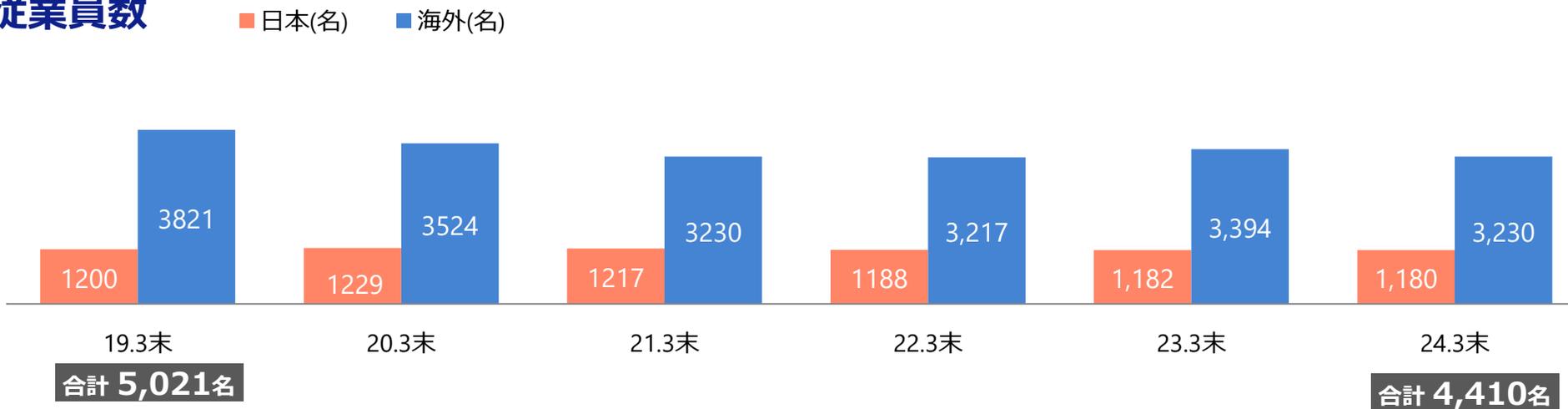


# 売上高・粗利・販管費・従業員数の推移

## 売上高・粗利・販管費



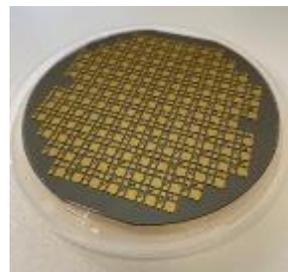
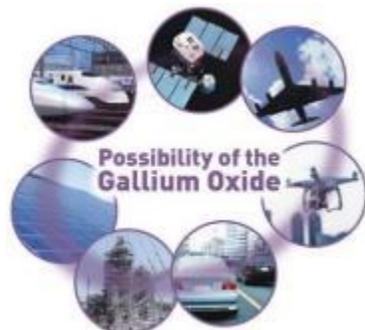
## 従業員数



# カーボンニュートラルへの貢献 ～酸化ガリウムパワー半導体の研究開発

- ◆ タムラ製作所の研究開発部門が独立して設立された株式会社ノベルクリスタルテクノロジー（NCT）は、カーボンニュートラルへの貢献が期待される酸化ガリウムパワー半導体の研究開発を推進しています
- ◆ タムラは、NCTと接合材料や電源機器などの共同開発を進め、中長期的視点で共に成長を目指しています

## 酸化ガリウムパワー半導体 研究開発



## タムラとNCTの取り組み



- 特許技術供与
- 技術支援・販売支援
- 周辺製品・材料のコラボレーション



- 酸化ガリウム基板  
およびパワーデバイスの  
製品化・製造販売

- 酸化ガリウム：SiCやGaNを越える高性能とコスト競争力が期待されているパワー半導体
- 研究開発チーム：NCT、タムラ製作所、情報通信研究機構、東京農工大学を中心とするチームで世界をリード
- NCT：タムラ製作所の持分法非適用関連会社（出資比率は約40%）。外部資本を積極的に取り込み、独立した経営陣でスピーディーな開発と事業化推進を行うため2015年に設立

NCTのホームページはこちら <https://www.novelcrystal.co.jp/>

### [NCTの研究開発成果]

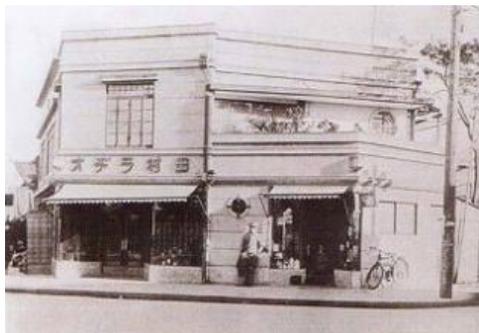
- 2022年9月 世界初、酸化ガリウム反転型DI-MOSTランジスタを試作
- 2022年12月 次世代のパワー半導体β型酸化ガリウムの結晶欠陥イメージング技術を開発
- 2023年4月 国内初、酸化ガリウムショットキーバリアダイオード搭載の出力電力350W電流連続型力率改善回路の実機動作確認に成功
- 2023年12月 世界初、垂直ブリッジマン法による6インチβ型酸化ガリウム単結晶の作製に成功

# タムラの歩み

タムラ製作所は1924年5月11日に創業、今年100周年を迎えました。

創業当時のラジオおよび電子部品の製作・販売から始まり、現在は「電子部品」「電子化学実装」「情報機器」の3つの事業分野で、様々な市場のニーズに応える製品・サービスを提供しています。

## 1924年創業 田村ラジオ商会



ラジオ、蓄音機の製作・販売  
トランスの自作化



# 事業領域

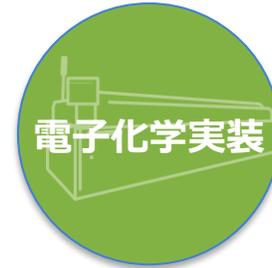
## 事業別売上高



売上高 : 725億円  
営業利益 : 29.6億円  
営業利益率 : 4.1%

### 主要製品

トランス  
リアクタ  
コイル  
大型トランス/リアクタ  
バッテリーチャージャ  
電源モジュール  
ゲートドライバ  
電流センサ  
LED関連製品 など



売上高 : 312億円  
営業利益 : 24.6億円  
営業利益率 : 7.9%

### 主要製品

ソルダーペースト  
フラックス  
ソルダーレジスト  
実装装置 など



売上高 : 30億円  
営業利益 : 4.7億円  
営業利益率 : 15.7%

### 主要製品

音声調整卓(ミキサー)  
ワイヤレスインターカム  
ワイヤレスマイクロホン など



(2024年3月期)

# 社会・産業・暮らしを支える

社会・産業・暮らしを支えるタムラのテクノロジー

タムラの製品は「材料」「部品」「装置」として、自動車や電子機器など身近な製品から製造現場の装置や再生可能エネルギー分野、さらには宇宙まで、さまざまな産業や社会インフラを支えています。

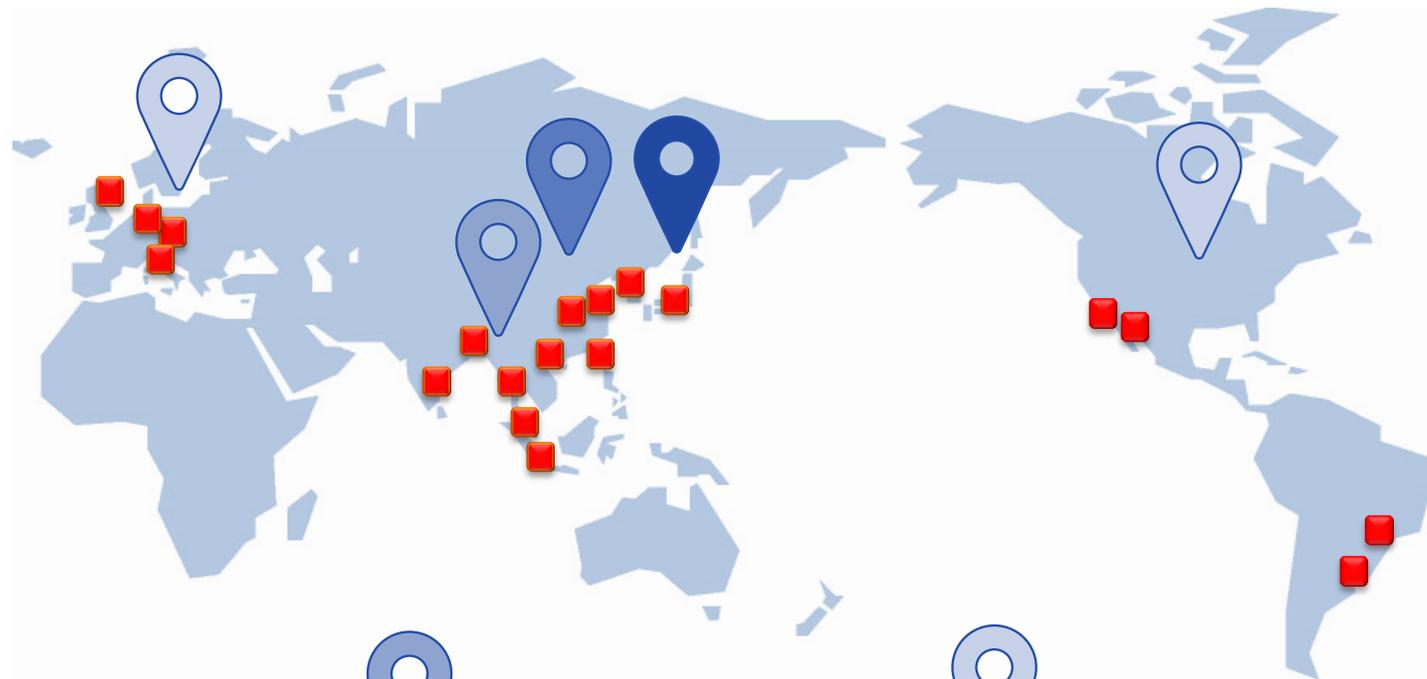


# 地域別概要

地域別売上高



地域別従業員数



## 日本

- ・売上高 : 372億円
- ・従業員数 : 1,180名
- ・製造拠点 : 5拠点



## 中国

- ・売上高 : 249億円
- ・従業員数 : 1,698名
- ・製造拠点 : 8拠点



## その他アジア

- ・売上高 : 192億円
- ・従業員数 : 974名
- ・製造拠点 : 5拠点



## 欧米

- ・売上高 : 255億円
- ・従業員数 : 558名
- ・製造拠点 : 3拠点

(2024年3月期および2024年3月31日現在)

# 事業拠点



タムラ・ヨーロッパ・リミテッド  
チェコ支店



タムラタイランド株式会社



オプシード・バングラデシュ・  
リミテッド



タムラ化学韓国株式会社



タムラ電子（メキシコ）株式会社



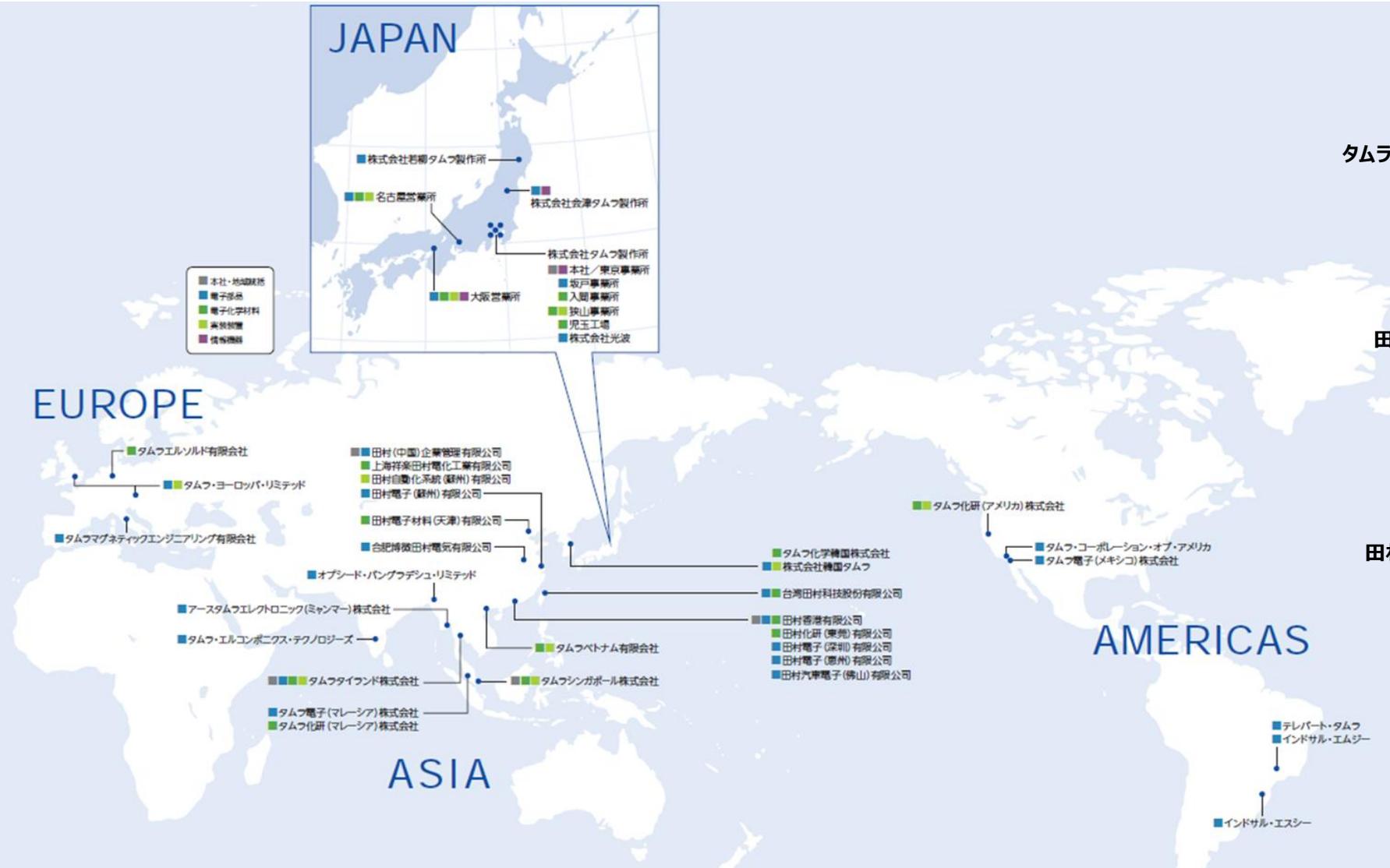
田村電子（惠州）有限公司



田村電子（蘇州）有限公司



上海祥楽田村電化工業  
有限公司



## 当社からのお願い

本資料の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。  
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所  
コーポレートコミュニケーション統括部 広報・IRグループ